※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編　論理国語　（大修館書店）						
副教材等	新訂版　正しく読み・解くための力をつける現代文　ステップ２　（数研出版） トリプルアプローチ　字義で覚える常用漢字　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作者に関してや、描かれている時代背景等を把握し、文章を深く読み味わうことに挑戦しましょう。また、文章を読み、感じたことや考えたことを的確に表現できるよう、書く力を養いましょう。多彩な文章に数多く慣れ親しみ、国語に対する感覚を磨きましょう。

２　学習の到達目標

【知識・技能】近代以降の様々な文章を読むことによって、生涯にわたる社会生活に必要な国語について的確に理解することができる。

【思考・判断・表現】他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを適切に表現する能力を高める。また、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文章を正確に読み取り、作者の主張と要旨をつかむ。 ［教材］ 知の登山、知の水路	a：教材の読み方を習得する。用語を理解する。 b：［読］教材の内容を的確に読み取る。 ［書］教材から読み取った内容を文章化する。 c：進んで教材読解に努め、独自の考えを文章化しようとしている。	ノート点検 小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認	行動の観察 記述の確認
	文章を吟味し、分析する。作者の主張の根拠をつかむ。 ［教材］ 「考える葦」であり続ける	a：教材の読み方を習得する。用語を理解する。 b：［読］教材の内容を的確に読み取る。 ［書］教材から読み取った内容を文章化する。 c：進んで教材読解に努め、独自の考えを文章化しようとしている。	ノート点検 小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認	行動の観察 記述の確認
	資料を正確に読み取り、文章と資料を関連づけて読む。 ［教材］ 量の時代から質の時代へ	a：資料の読み方を習得する。用語を理解する。 b：［読］教材の内容を的確に読み取る。 ［書］教材から読み取った内容を文章化する。 c：統計資料を読み取り、活用して、自分の意見を主張することができる。	ノート点検 小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認	行動の観察 記述の確認
二学期	文章を吟味し、具体例の妥当性や因果関係を読み取る。 ［教材］ ミロのヴィーナス	a：教材の読み方を習得する。用語を理解する。 b：［読］教材の内容を的確に読み取る。理由づけの適切さを吟味する。 ［書］教材から読み取った内容を文章化する。 c：進んで教材読解に努め、独自の考えを文章化しようとしている。	ノート点検 小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認	行動の観察 記述の確認

※令和４年度以降入学生用

	教材を通して問いを立て、自身の意見を文章にする。 ［教材］ 「である」ことと「する」こと	a:教材の読み方を習得する。用語を理解する。 b:［読］教材の内容を的確に読み取り、独自の問いを立てる。 ［書］関連する資料を読み、自身の意見を文章にする。 ［話］話し合いを通して、自身の考えを深める。 c:積極的に話し合いに参加し、独自の考えを深めようとしている。	ノート点検 小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認	行動の観察 記述の確認
三学期	教材を通して身近な課題に向き合い、話し合いに取り組む。 ［教材］ 人口減少社会の到来	a:教材の読み方を習得する。用語を理解する。 b:［読］教材の内容を的確に読み取り、独自の問いを立てる。 ［書］関連する資料を読み、自身の意見を文章にする。 ［話］話し合いを通して、自身の考えを深める。 c:積極的に話し合いに参加し、独自の考えを深めようとしている。	ノート点検 小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認	行動の観察 記述の確認
	根拠をふまえて、自身の主張を説得力のある文章にする。 ［教材］ 論理的に書く　小論文	a:情報を収集し、整理する。資料の読み方を習得する。 b:［読］テーマ、情報の内容を的確に読み取る。 ［書］対立する主張を想定し、説得力のある文章を書く。 c:　統計資料を読み取り、活用して、自分の意見を主張することができる。	ノート点検 小テスト 定期考査	定期考査 行動の観察 記述の確認	行動の観察 記述の確認

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０～２５　）時間

・書くこと　…　（　４０～４５　）時間

・読むこと　…　（　６０～６５　）時間